

第一課 服裝の美化

第一課 服裝の美化

*吃喜酒表示一面喝酒一面吃菜之意。

夫：今天下班兒以後，得去參加一個同事的婚禮。有喜酒可吃了。

妻：那麼你得換套西裝吧？

夫：當然！人家喜事，我今兒不穿平時常穿的那套深藍的了。

妻：帶花條兒的那套薄呢的，不是很漂亮嗎？

夫：好極。領帶似乎也打得一條顏色鮮明些的才像樣。

妻：這條綠色帶花點的，你看配着這套西裝合適不合適？

夫：合適是合適，可是我想不打領帶了。光帶個領花，倒更顯得年青一點兒。

妻：也好，我看目前倒很時興帶領花的。你還會打扮自己呀！

夫 今日勤めが終ってから、同僚の結婚式に出なければならぬ。祝酒が飲めるのだよ。

妻 それでは洋服に着替えなければならぬでしょう。

夫 そうだとも！ お祝だから、今日はふだんいつも着ているあの濃い藍色のは着ないのだ。

妻 縞の、あの薄地の毛織のは大変綺麗ではありませんか。

夫 至極いい。ネクタイはどうも色のあざやかなのを締めた方が体裁がいいようだ。

妻 此の緑色の水玉模様のあるのは、ねえ、此の洋服に合いますかしら。

夫 合うことは合うが、僕はネクタイは締めないことにした。只蝶ネクタイをつけた方が却ってずっと若々しく見える！

妻 それもいいですね。今は却って蝶ネクタイをつけるのが大変流行しているようですから。貴方はなかなかおしゃれが上手だわ。

第二課 一種享受

第二課 或るエンジヨイメント

顧客：王裁縫，我這兒有塊料子，你看作什麼好？

王：您這塊料子很不錯。是純絲的，給您作件

旗袍*，一定很大方，很漂亮。

客：你看長短兒够不够？

王：讓我量量看。行。有富餘。

客：這兒還有塊薄綢子，給我作件襯裙吧。

王：沿花邊兒不沿呢？

客：還是沿的好看。

王：行，您的尺寸我們這兒有，用不着再量了。

客：不過因爲是單的不是給的，腰身請你作瘦

一點兒，領子作矮一點兒，身長作短一點，袖口可不要太肥。

客 仕立屋の王さん、私生地を持って来ているのですけれど、何を作るのがいいと思えますか？

王 此の生地は大変結構でございますね。本絹でございます。旗袍をお作りすれば、さつとなかなかシックですてきでございます。

客 ねえ、丈が足りませんか？

王 お計りして見ましょう。大丈夫でございます。余ります。

客 此処に尙薄い絹がありますから、私にスリッパを作ってくださいな。

王 レースをお付けしますか。

客 やはり附けた方がきれいです。

王 宜しうございます。貴女様の寸法は手前共のところでございますから、又お計りするには及びませぬ。

*女人所穿的長袍。
*高貴文雅之意。